

グループワーク① 現状・課題の把握・整理

会場に表示するスライドの内容	進 行 内 容
<p>グループワーク①</p> <p>現状・課題の把握 (計 60分)</p>	<p>意図： ※読み上げない</p> <p>事前課題で作成した強み・弱み表を用いて、互いの状況を共有する。互いの状況を知ること、自身の自治体の課題、共通する課題等を知ると同時に、先進的な取組等を知って刺激を受ける。 (グループディスカッション)</p>
<p>step1.</p> <p>事前課題のシートを用いて 互いの状況を共有する</p> <p>・発表:12分(1人2分想定×仮に6人)</p>	<p>進行:</p> <p>1. 事前課題のシートを用いて、互いの状況を共有する。その際にポイントとなる言葉について、書記がキーワードとして書き出す(発表12分)。</p>
<p>step2.</p> <p>その中から検討したい課題をとりあげ、 どのような対応の方法があるかを考える</p> <p>・グループで協議 38分</p>	<p>進行:</p> <p>2. 出たキーワードの中から、課題としてとりあげたいものを選ぶ</p> <p>3. その上で、それについて対応方法を考える。</p> <p>4. 以上は発表できるよう取りまとめまでもっていく。 (グループ協議 38分)</p>
<p>発表・共有</p> <p>・10分</p>	<p>進行:</p> <p>5. 3グループ程度の発表を想定 (発表3分×3グループ・・10分程度)</p>

グループワーク②-1 多職種連携研修会の企画案の検討

会場に表示するスライドの内容	進 行 内 容
<p>グループワーク②-1</p> <p>効果的な多職種連携研修会の企画案を検討する</p> <p>(計 60分)</p>	<p>意図： ※読み上げない</p> <p>医師会と連携(医師会主催、もしくは市町村と医師会との共催)及びを前提として、効果的な多職種連携研修会を企画・実施するためにどのようなことが必要かを理解する。</p> <p>(KJ法)</p>
<p>step1.</p> <p>多職種連携研修会にするために どのようなことが課題となっているか (特に医師会との連携、医師の参加という観点から)</p> <p>・個人ワーク:10分 ・その後グループで協議:15分</p>	<p>進行:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多職種連携研修会を企画・実施するにあたって、現状どのような課題があるか。特に医師会との連携や医師の参加という観点を中心に、まずは個人で書き出してみる。(個人ワーク10分) 2. 書き出したものを一人一人発表し、島をつくり、分類してみる。途中で気づいたものについては、追加していく。(グループ協議15分)
<p>step2.</p> <p>医師会と連携して、より効果的な 多職種連携研修会にするためには どのような企画とすることが考えられるか</p> <p>・グループで協議25分</p>	<p>進行:</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 医師会主催あるいは市町村と医師会との共催を前提として、在宅医療に関心を持つ医師を増やすことに資する多職種連携研修会とするためには、どのような企画とすべきか、検討し、提案する。 4. 以上を発表できるよう取りまとめまでもっていく。(グループ協議25分)
<p>発表・共有</p> <p>・10分</p>	<p>進行:</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 3グループ程度の発表を想定 (発表3分×3グループ・10分程度)

グループワーク②-2 住民啓発事業の企画案の検討

会場に表示するスライドの内容	進行内容
<p>グループワーク②-2</p> <p>住民啓発事業の企画案の検討</p> <p>(計 60分)</p>	<p>意図： ※読み上げない</p> <p>専門職団体の現状や課題、関係構築にかかる経験を共有するとともに、専門職団体と円滑な関係構築ができるよう、どのような課題があり、どのようなアプローチが求められるのかを知る。</p> <p>(KJ法)</p>
<p>step1.</p> <p>地域住民の在宅医療に関する意識・理解についてどのような課題があるか</p> <p>・個人ワーク:10分 ・その後グループで協議:15分</p>	<p>進行:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅医療を普及させるにあたって、住民意識の観点から、現状どのような課題があるか。まずは個人で書き出してみる。(個人ワーク10分) 2. 書き出したものを一人一人発表し、島をつくり、分類してみる。途中で気づいたものについては、追加していく。(グループ協議15分)
<p>step2.</p> <p>地域住民に在宅医療をより知ってもらうためにはどのような方法が考えられるか</p> <p>・グループで協議25分</p>	<p>進行:</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. step1 で出た課題を解決し、住民により在宅医療を知ってもらう(在宅での療養という選択肢があることを理解してもらう)ためにどのような方法が考えられるかを検討する 4. 以上は発表できるよう取りまとめまでもっていく。(グループ協議25分)
<p>発表・共有</p> <p>・10分</p>	<p>進行:</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 3グループ程度の発表を想定 (発表3分×3グループ・10分程度)